

焼き板クラフト

1 活動の概要

1枚の木板をガスバーナーで焼いて、たわしをつかって木目をきれいにし出し、焼き板を生かすような絵を描いたり文字を入れたりして、オリジナルの壁掛けや表札などを作ります。

2 ねらいとして考えられるもの

創作活動をとおして、豊かな創造性や感性を育む。

3 活動時期

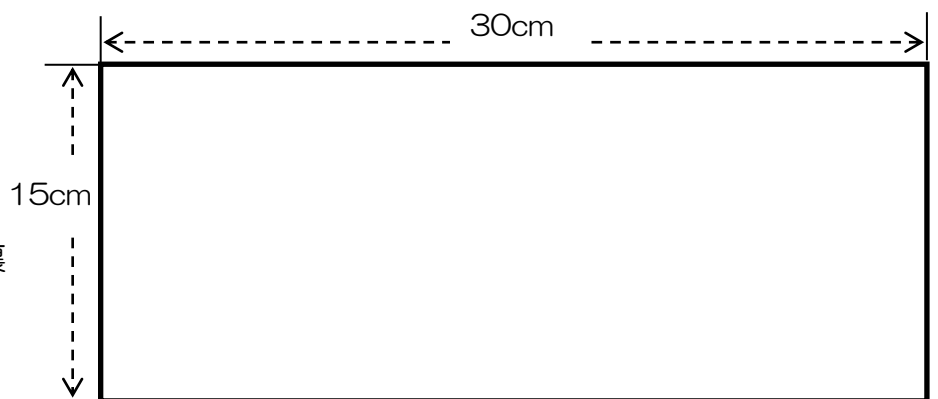
通年

4 活動場所

創作工作室、創作工作室裏

5 活動人数

少人数～最大40人程度



6 所要時間

2時間程度

7 指導依頼について

- (1) 基本的には、引率または団体指導者の方に直接指導していただきます。事前打合せに来所した際に指導手順について、ネイパル職員が引率または指導者の方に指導します。
- (2) どうしても団体で指導できない場合は、ネイパル職員が指導しますが、他の利用団体の活動状況やネイパル職員の勤務の関係上、全ての指導依頼に答えられない場合があります。
- (3) 指導依頼をした場合でも、全ておまかせの状態にならないよう、参加者の掌握や安全管理について指導補助をお願いします。

8 団体が準備するもの

(1) 参加者

軍手 デザインの下絵

(2) 引率者（指導者）

クラフト用木板（ネイパルで購入も可 トドマツ材木板 1枚 120円）

9 ネイパルで貸し出しできるもの

- たわし □布きれ □ハンドガスバーナー □電動ドリル □新聞紙
 □ポスターカラー □掃除用具（机拭き・床拭き用ふきん、ほうき、ちりとり）

10 活動にかかわって

(1) 実施上の注意点

- ①ガスバーナーと電動ドリルの使い方には十分に注意を払ってください。
 ②活動場所が分かれるので、各作業場所に引率または団体指導者が配置しているようにお願いします。
 ③1つのテーブルには、4～5名で活動しますので、事前にグループ分けをお願いします。

(2) 展開例（1グループ4～5人程度）

活動手順	内 容	時間例
用具の準備	①板の準備・配布（工作室裏出入口前の棚にあります。） ②工作室前のテーブルに使用する道具を一式用意する。 （完成見本品、見本用のたわし・布きれ・組立前のガスバーナー、ポスターカラーなど）	5分
説 明	①ハンドガスバーナーの組み立て方と使い方について ・バーナーの金属部分に触れないこと。 ・赤いボタンを押すことで火が付くこと。 ・ガスの調整の仕方について。 ・火の回りでふざけないこと。 ②風が強い時やガスの出量が多い時の注意点について。 ③バーナーを人には絶対に向けないこと。 ④焦げをたわしで落とすときは、木目にそって落とすこと。	15分
創作手順	①板、軍手、たわし、布きれを持って創作工作室裏に移動する。（焼き作業に必要な道具は、工作室裏付近にあります。） ②ハンドガスバーナーで部品を焼く。 ・ハンドガスバーナーを組み立てる。 ・ガスを調節するつまみを時計回りに動かし、ガスを出していく。（出しすぎると、火の勢いが強くなり、火傷をする恐れがあるので注意します。） ・赤いボタンを押して、火をつける。 ・必ず軍手をして、周囲の人とある程度の間隔を取りながら、板を真っ黒になるまで焼く。 ※風が強い時やガスの噴出が多いときは、火が消えることがあるので注意します。 ・焼き終わったら、ガス調整のつまみを反時計回りに回し、火とガスを止める。（金属部分はとても熱くなっているので触れないようにしましょう。）	1時間

	<p>③板の表面を木目に沿ってたわしでこすり、焦げを落としていく。 (さわっても黒くならなくなるまできれいにします。)</p> <p>④布きれで磨き、焼いた部品につやが出るように磨く。</p> <p>⑤磨き終わったら、使用した道具をそれぞれのかごに戻し、工作室内に戻る。</p> <p>⑥ポスターカラーを使用し、個人のデザインを描く。</p> <p>⑦壁掛けにする人は、電動ドリルで紐を通す穴をあける。 ※電動ドリルは引率または団体指導者が行うようにします。</p> <p>⑧完成</p>	
<p>後片付け</p>	<p>①工作室裏は水をまき、焦げがついている部分をブラシでこする。</p> <p>②工作室内は、落ちた木くずやテーブル上の木くずごみを掃く。</p> <p>③机拭き用の雑巾を使用し、テーブルの上を拭く。</p> <p>④床が汚れている場合は、床拭きも行う。</p> <p>⑤椅子をテーブルの上に戻す。</p> <p>⑥忘れ物が無いか確認する。</p>	<p>20分</p>